

NYマーケットレポート (2022年6月15日)

2022年6月15日 (水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	26,326.16	-303.70	-8.56%	USD/JPY	133.68	135.60	133.51
ハンセン指数	21,308.21	+240.22	-8.93%	EUR/JPY	139.72	141.50	139.53
上海総合	3,305.41	+16.50	-9.19%	GBP/JPY	162.77	163.17	161.73
韓国総合	2,447.38	-45.59	-17.81%	AUD/JPY	93.61	93.94	92.95
豪ASX200	6,601.03	-85.00	-11.33%	EUR/USD	1.0451	1.0508	1.0359
シンガポールST	3,105.85	-3.04	-0.57%	BRL/JPY	26.384	26.530	26.054
インドSENSEX	52,541.39	-152.18	-9.81%	RUB/JPY	2.283	2.302	2.256

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%	Commodity	終値	前日比	年初来%
英FT100	7,273.41	+85.95	-1.50%	NY GOLD	1,819.60	+6.10	-0.49%
仏CAC40	6,030.13	+80.29	-15.70%	NY 原油	115.31	-3.62	53.32%
独DAX	13,485.29	+180.90	-15.11%	CBOTコーン	721.00	-0.25	21.53%
スペインIBX35	8,174.70	+108.30	-6.19%	CRB指数	314.792	-0.880	35.47%
イタリアFTSE MIB	22,473.56	+626.67	-17.82%	ドル指数先物	105.158	-0.360	9.92%
トルコ・イスタンブール100	2,531.11	+22.20	36.25%	VIX指数	29.62	-3.07	72.01%
ロシアRTS	1,280.38	+7.41	-19.76%				
南ア全株指数	67,502.09	+1818.57	-8.42%				

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	30,668.53	+303.70	-15.60%	CME Bitcoin(先物・期近)	21660	21940
S&P500	3,789.99	+54.51	-20.48%	XRP(Ripple) [BSTP]	0.326	0.315
NASDAQ	11,099.16	+270.81	-29.06%	Ethereum [BSTP]	1178.58	1188.54
				Bitcoin Cash	123.42	123.72

南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%	オセアニア国債利回り	本日	前日
カナダ・トロント総合	19,611.56	+63.05	-7.59%	オーストラリア10年債	4.207%	3.962%
メキシコ・ボルサ指数	48,344.97	+180.50	-9.25%	ニュージーランド10年債	4.307%	4.255%
ブラジル・ボベスパ指数	102,806.82	+743.57	-1.92%	日本国債利回り		

2年債	前日
-0.024%	-0.043%

10年債	前日
0.256%	0.249%

30年債	前日
1.219%	1.190%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	1.644%	1.758%
英国 10年債	2.468%	2.586%
フランス 10年債	2.230%	2.390%
イタリア 10年債	3.820%	4.180%
スペイン 10年債	2.890%	3.120%

米国債利回り	本日	前日
2年債	3.191%	3.427%
10年債	3.284%	3.473%
30年債	3.328%	3.424%

6/16 経済指標スケジュール
08:50 【日本】5月貿易収支
10:00 【オーストラリア】6月消費者インフレ期待
10:30 【オーストラリア】5月失業率
10:30 【オーストラリア】5月雇用者数
10:30 【オーストラリア】5月労働参加率
15:00 【欧州】5月新車登録台数[EU-27]
16:30 【スイス】政策金利
18:00 【欧州】1Q労働コスト
20:00 【英国】政策金利
20:00 【英国】英中銀 議事録
20:30 【トルコ】4月住宅価格指数
21:30 【米国】新規失業保険申請件数
21:30 【米国】失業保険継続受給者数
21:30 【米国】5月住宅着工件数
21:30 【米国】5月建設許可件数
23:30 【米国】EIA天然ガス貯蔵量

6/16 主要会議・講演・その他予定
・ユーロ圏財務相会合

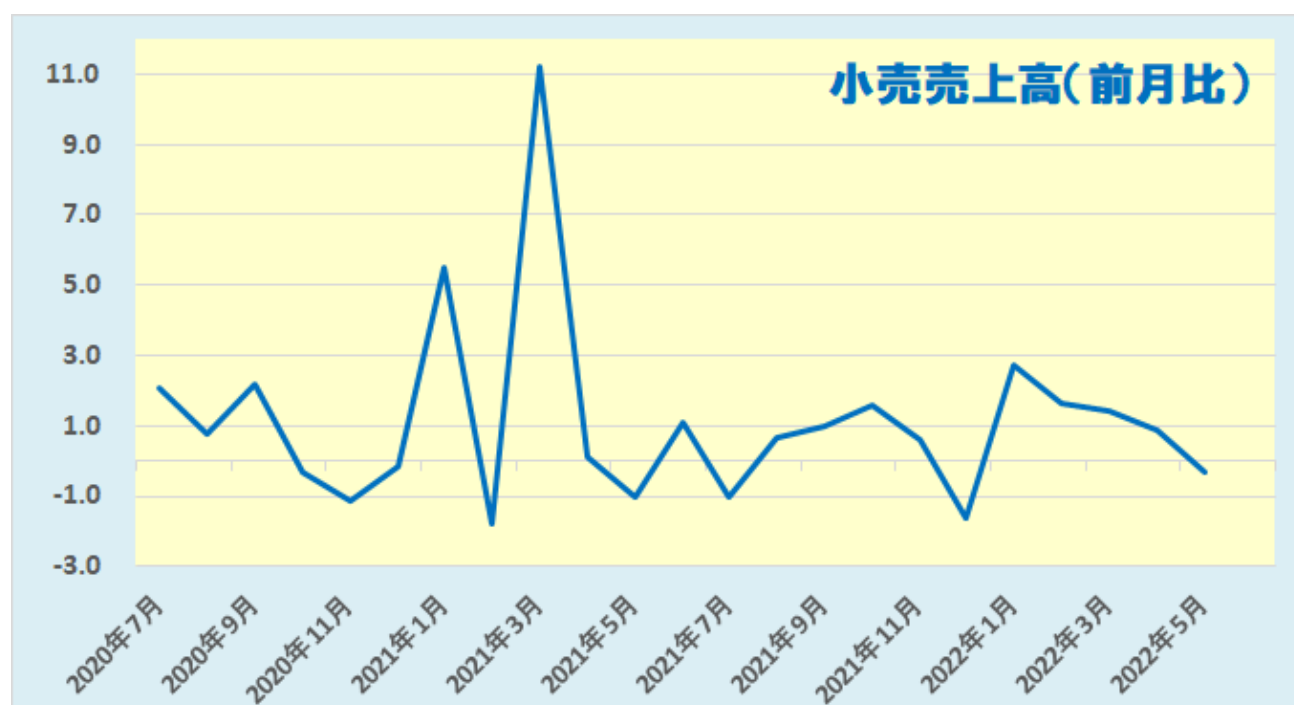
NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

5 月小売売上高（前月比） -0.3%（予想 0.1%・前回 0.9%⇒0.7%）

5 月小売売上高[除自動車] 0.5%（予想 0.6%・前回 0.6%⇒0.4%）

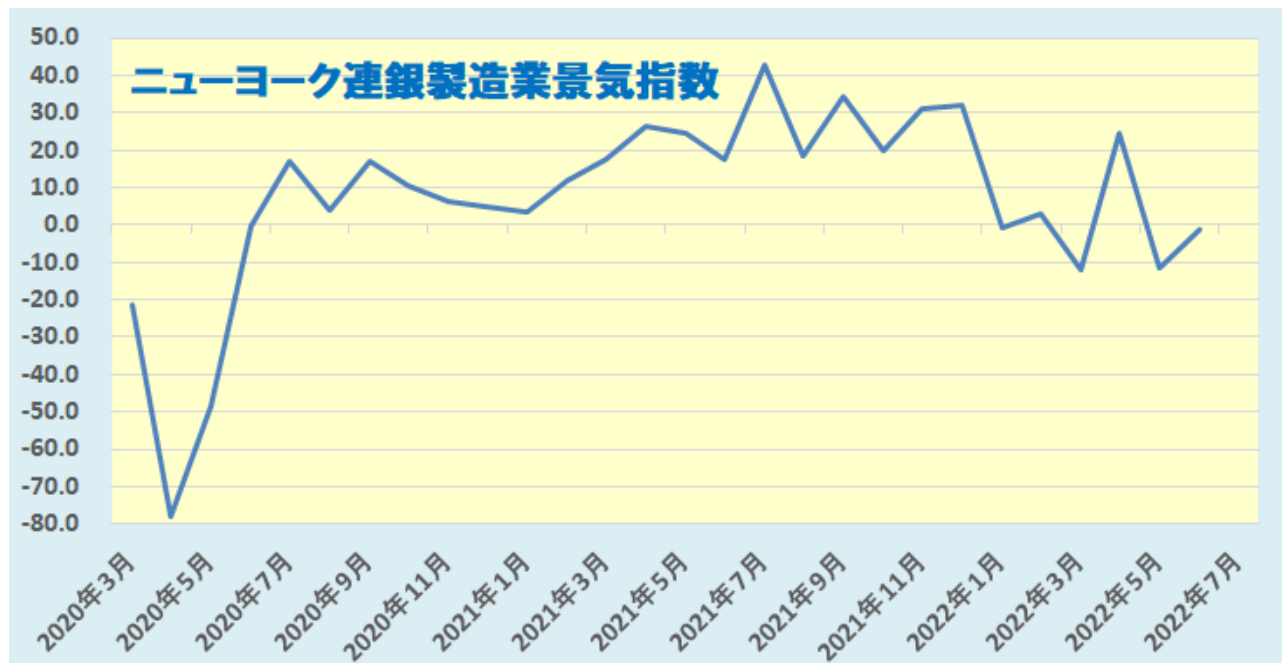
5 月の米小売売上高は、市場予想に反して 5 ヶ月ぶりのマイナスとなった。一方、変動が大きい自動車・同部品を除いた売上高は前月から伸び幅が拡大した。高インフレの影響で消費が鈍化したと見られている。建設資材は 0.2%（-0.2%）、食品・飲料は 1.2%（-0.1%）、ガソリンスタンドは 4.0%（-1.9%）と改善したものの、自動車・同部品が-3.5%（前月 1.8%）、家具が-0.9%（1.6%）、電気製品が-1.3%（1.8%）となったことが影響した。



データを基に SBILM が作成

6月ニューヨーク連銀製造業景気指数 -1.2 (予想 3.0・前回 -11.6)

6月のニューヨーク連銀製造業景況指数は、市場予想に反して2ヵ月連続のマイナスとなった。新規受注や出荷、雇用者数は前月から伸びたものの、6ヵ月先の予想が低下したことなどが影響した。



データを基に SBILM が作成

FOMC 政策金利 1.50%-1.75%% (予想 1.25%-1.50%・前回 0.75%-1.00%)



データを基に SBILM が作成

FOMC 主な声明

- ・ 経済活動は第 1 四半期に落ち込んだ後に回復したようだ
- ・ ここ数カ月の雇用の伸びは堅調、失業率は低いまま
- ・ ロシアによるウクライナ侵攻は多大な人的および経済的な困難を引き起こしている
- ・ 中国でのロックダウンがサプライチェーンの混乱を悪化させる可能性も
- ・ インフレのリスクを非常に注視している
- ・ 雇用最大化と長期的な 2%のインフレ率の達成を目指す
- ・ FF 金利の目標誘導レンジを 1.50%-1.75%に引き上げることを決定
- ・ 目標誘導レンジの継続的な引き上げが適切になると予想する
- ・ インフレを 2%の目標に戻すことに強くコミット

パウエル FRB 議長の会見での主な発言

- ・ メンバーはインフレの上向きリスクを認識
- ・ インフレ動向は今回の大幅利上げを正当化
- ・ 0.75%の利上げが普通になるとは想定せず
- ・ 次回の FOMC では 0.50%か 0.75%の利上げの可能性が高い
- ・ ミシガン消費者マインド指数の速報が強く目を引いた
- ・ 広範囲に及ぶ景気減速の兆候はない
- ・ 年末までに 3.0%-3.5%の抑制的な金利水準を望む

ダウ平均は6営業日ぶりに反発、ナスダックは大幅続伸

米株式市場では、FOMCで0.75%の利上げが決定されたことを受けて、ダウ平均が一時マイナス圏まで下落するなど、主要株価指数は下げ幅を拡大した。しかし、パウエルFRB議長の会見での発言が予想されたほど強気ではなかったと受け止められたことから、主要株指数は堅調な動きとなった。さらに、下落が続いたことで値頃感の買いも観測され、主要株価指数は上げ幅を拡大した。ダウ平均株価は、序盤から底固い動きが続いたものの、FRBの利上げ決定を受けて一時前日比179ドル安まで下落した。その後は買い戻り優勢となり、終盤に645ドル高まで上昇したものの、引けにかけて上げ幅を縮小して303.70ドル高(+1.00%)で終了、6営業日ぶりの反発となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、270.81ポイント高(+2.50%)で終了して大幅続伸となった。



セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	2.25%	1	ボーイング	9.46%
2	資本財	1.61%	2	マイクロソフト	2.97%
3	金融	1.44%	3	ゴールドマン・サックスG	2.67%
4	通信サービス	0.96%	4	セールスフォース	2.49%
5	消費者サービス	0.51%	5	ナイキ	2.46%

データを基にSBILMが作成

ドルは主要通貨に対して下落

NY 市場では、序盤に発表された5月の小売売上高と6月 NY 連銀製造業景気指数がともに予想外のマイナスとなったことから、ドルは主要通貨に対して上値の重い動きとなった。ただ、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードも強まっており、値動きは限定的だった。FOMC では0.75%の利上げが決定されたものの、予想通りの結果だったことで直後に米長期金利が低下となり、ドル/円は発表直前の134.34から134.12まで下落した。ただ、年末時点の金利見通しが3.40%と3月時点の1.90%から引き上げられたことが好感され、長期金利の上昇と共にドル/円も134.96まで上昇した。しかし、パウエルFRB議長が会見で0.75%の利上げが普通になるとは予想しないと発言するなど、発言が予想されたほど強気ではないと受け止められたことから、米長期金利の低下とともにドル/円は133.51まで下落した。一方、欧州通貨や資源国通貨は対ドルで上昇したことや、米主要株価指数が終盤にかけて上げ幅を拡大したこと、対円でも堅調な動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。